

平成18年度 施策評価表

所属 09200000

保健所 生活衛生課

施策	0208 環境衛生						
区分							
対象	理容所、公衆浴場等の環境衛生施設の営業者、水道施設、ビル等の管理者						
施策意図	生活環境の衛生が保たれている						
現状と課題	需要の増加に伴う墓地の申請が増え、隣接住民等とのトラブルが発生している。 国際化に伴う感染症（SARS、ウエストナイル熱等）の発生に対して、迅速に対応する体制を整備する必要がある。 ネズミの相談やハチ駆除に関する相談が増えている。						
成果指標	環境衛生施設の検査適合率%（適合数÷検査施設数×100）（21年度目標値83.9%）						
目標達成状況	成果指標1 [%]	予定	平成17年度	平成18年度			
		実績	82.10	82.90			
	成果指標2 []	予定					
		実績	83.93				
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	トータルコスト (千円)	予定			74,784		
		実績		78,729			
施策の位置付け	区の関与度合	区中心。 営業者等に対して、生活衛生関係法令等で定められている衛生基準を遵守させ、区民が安心して生活できる衛生環境を確保することは、区の責務である。					
	区民ニーズへの貢献	大きい。 安心・安全に関する区民の関心はかつてないほど高まっており、区民が日常的に利用する営業施設の衛生状況等を監視指導することは区民ニーズに合致する。					
	成果向上の必要性	現状維持。 本区においては、公衆浴場、理容所などの生活衛生営業施設における健康被害の発生事例がないことから、現行の水準の監視・指導活動を維持すべきである。					
	成果向上の容易性	容易ではない。 施策成果の向上には、環境衛生監視員による監視指導の強化が不可欠であり、そのためには、監視員の増員や検査費用の増加が必要である。					
位置付け総合評価	継続。 本施策は、関係法令に基づく許認可・監視指導業務が中心であり、現在、適正かつ効果的に行われているため、現状のとおり継続すべきである。						
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	総合評価
	020802	環境衛生普及・啓発				20,710	5
	020801	環境衛生許認可事務・監視指導				58,019	4

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 09200000

施 策 0208

保健所 生活衛生課

環境衛生

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		1,643		
		一般財源	(5)		67,111		
	直接費	事業費	(6)		5,784		
	職員人件費	人件費	(7)		62,970		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数：賦課)	(9)		8.00		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		8.00		
	間接費	(12)		0			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)		0		
		(加算)金利	(14)		0		
		(加算)退職給与引当	(15)		6,030		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		6,030			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		74,784			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	1,440			
		一般財源	(24)	70,089			
	直接費	事業費	(25)	5,129			
	職員人件費	人件費	(26)	66,400			
		再雇用職員分	(27)	0			
		(職員数：賦課)	(28)	8.00			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	8.00			
	間接費	(31)	0				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	0			
		(加算)金利	(33)	0			
		(加算)退職給与引当	(34)	7,200			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	7,200				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	78,729				

施策名	環境衛生
-----	------

担当課： 生活衛生課

施策の達成状況

【達成度評価】
成果指標は向上の余地は残されているが、本区内における公衆浴場や理容所、クリーニング所などの生活衛生関係営業施設における事故や健康被害、また、衛生害虫による健康被害などは起きていないことから、施策の目的は達成されているものと考えられる。

構成事務事業の施策成果貢献度 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果向上の余地	大			
	中		環境衛生普及・啓発	
	小			環境衛生許認可事務・監視指導
		小	中	大
施策成果への貢献度				

構成事務事業の次年度方向性 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果の増減方向	向上		環境衛生普及・啓発	
	維持	環境衛生許認可事務・監視指導		
	減少			
		減少	維持	増加
事務事業のコストの増減				

【次年度方向性の考え方】
区が行う監視指導活動には、限界があるため、生活衛生関係営業施設の安全性を高めていくためには、事業者の自主衛生管理の推進や区民、関係団体との協働を強化する必要があり、今後は環境衛生普及啓発事業の比重を高めていくことが必要である。